

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市営橋本駅北口第1自転車駐車場他13施設
指定管理者名	相模原市まち・みどり公社、NCD運営共同事業体 (構成団体:公益財団法人相模原市まち・みどり公社、日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社)
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日
施設設置条例	相模原市営自転車駐車場条例、相模原市営自転車駐車場条例施行規則
施設の設置目的	駅周辺における自転車及び原動機付自転車の駐車秩序を確立し、自転車及び原動機付自転車を利用する者の利便を図る。
施設概要	橋本駅北口第1自転車駐車場、橋本駅北口第2自転車駐車場、橋本駅南口第1自転車駐車場、橋本駅南口第2自転車駐車場、相模原駅北口自転車駐車場、相模原駅南口自転車駐車場、矢部駅北口自転車駐車場、淵野辺駅南口第1自転車駐車場、淵野辺駅南口第2自転車駐車場、相模大野駅北口自転車駐車場、谷口北口自転車駐車場、谷口南口自転車駐車場、相模大野駅西側自転車駐車場、相武台前駅北口自転車駐車場
施設所管課	都市建設局 土木部 路政課

2 管理実績

項目(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数合計(人)	7,859,733	8,090,170	8,467,806
利用料金合計(円)	426,556,040	448,434,190	477,019,980
利用率(%)	81.9%	84.2%	89.0%

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点
	C	C	C		5

指標

指標名(単位)	自転車駐車場(14施設合計)の利用率(%)
指標式と指標の説明	利用台数/365日/収容台数×100

項目(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値(%)	99.6	99.6	99.5
実績値(%)	81.9	84.2	89.0
達成度(%)	82.2%	84.5%	89.4%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	A		15

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
なし	—	—

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
なし	—	—

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
ルールブックの作成と配架	ルールブックを作成し、利用手続きの流れや駐輪ラックの取扱方法等についてご案内	初めて施設を利用するお客様を含めた利用者全般の施設利用の円滑化につながった。
翻訳機導入による多言語対応	相模原駅南口自転車駐車場、矢部駅北口自転車駐車場、橋本駅南口第2自転車駐車場にて翻訳機の導入した。	多言語社会に対応し、かつ外国人利用者へのサービス向上につながった。
特殊な自転車・バイクへの駐車スペース確保	特殊自転車等駐車スペースの確保について適宜実施した。	近年普及している特殊自転車等における利用者の利便性の向上につながった。
オープン型宅配ボックスの設置	相模原駅南口自転車駐車場、相模大野駅北口自転車駐車場、淵野辺駅南口第2自転車駐車場、相武台前駅北口自転車駐車場に設置した。	ライフスタイルの多様化に対応し、かつ各施設の付加価値の向上につながった。
救急用品の常備	全施設へAEDを設置した。	事件・事故発生時における利用者及び職員の救命効果の向上につながった。

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	A		15

利用者満足度調査

調査手法	利用者へのアンケート調査を実施
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「どちらかといえば満足」の合計の割合

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	96.5	97.4	96.7
達成度（%）	107.2%	108.2%	107.4%

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
意見箱の設置	各施設の事務所前に意見箱を設置し、利用者からの意見や要望等を随時受付、対応に努めている。
ホームページのお問い合わせ	自転車駐車場ホームページのお問い合わせフォームにて利用者からの意見や要望等を随時受付、対応に努めている。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
場内の照明が暗く、防犯の観点から照明を明るくしてほしい。	場内照明設備のLED化を行った。
自転車駐車場の満空状況についてネットから確認できるようにしてほしい。	市営自転車駐車場HPを開設し、満空表示の掲載を行った。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点
	S	B	A		15

施設の収支概要

(千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入（a）	392,106	393,077	407,116
指定管理料	370,656	370,656	370,656
料金収入の5%相当額	21,327	22,421	23,850
その他の収入	123	-	12,610
支出（b）	381,994	395,042	404,231
人件費	102,655	107,211	108,468
施設管理経費	245,319	260,371	264,311
本社管理経費	31,948	26,737	30,811
その他の支出	2,072	723	641
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	10,112	-1,965	2,885
自主事業収入（d）	4,520	5,774	6,926
自主事業支出（e）	5,410	3,468	3,579
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	-890	2,306	3,347
全体収支 【(c)+(f)】	9,222	341	6,232
備考	※千円未満は切り捨て処理、「-」はの表記は該当なし ※収入の項目中、「料金収入の5%相当額」はインセンティブ制度による収入		

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	有	有	有
主な加点内容	新型コロナウイルス感染症対策として人員配置を柔軟に変更できる体制を整えているほか、勤怠状況や会計・経理などをシステム等により一括管理できる体制を整えており、適切な管理形態を構築しているため	事務所内のレイアウトや人員配置等、新型コロナウイルス感染症対策についての取組を図っていたほか、施設従事者において新型コロナウイルス感染症陽性と診断されるなど突発的な事象が生じても、施設の運営に影響を及ぼすことなく組織として適切に対応することができていたため	人員配置の変更及び管理事務所窓口への飛沫感染防止に係るビニールカーテンの設置等、新型コロナウイルス感染症対策を積極的かつ適切に行っていたほか、個人情報保護マニュアルの配備等により情報セキュリティを強化し、利用者の個人情報の適正な管理を図ることができていたため

8 指定管理者の自己評価

- ・新型コロナウイルスの感染症の拡大による影響を受け、3年間の指定管理期間中は全施設において令和元年度と比較して利用者が大きく減少した。自主事業については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となる事業が多くなった。
- ・窓口対応については、感染拡大防止対策としてビニールカーテンの設置や利用者との対話をスピーカー設置してカーテン越しでもスムーズに行えるように感染拡大防止の対策と利便性を確保を行い、安心してご利用いただけるようにした。
- ・利益の還元については、「ラックの更新」や「防犯カメラの更新」、「照明のLED化」、「電磁ロック式駐輪機の設置」を行った。
- ・ホームページをリニューアルし、見やすくわかりやすいレイアウトにした。また、スマートフォン表示にも対応した。
- ・AEDの設置などを行うと共に救急法の研修をスタッフに実施した。
- ・設備の更新や利用者の利便性向上を図ると共に安全性の向上に努めた。
- ・レンタサイクル事業では電動アシスト付き自転車を新規導入し、レンタサイクル利用率の向上を図った。

9 所管課意見

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、各市営自転車駐車場における利用者数の減少や当初予定していた自主事業の規模縮小や中止などにより、3年間の指定管理期間は厳しい状況が続いた。

しかし利用者の減少が顕著であった令和2年度と比較すると、令和4年度は利用者数が大きく増加し、利用者満足度においては常に高水準を保っていた。利用者満足度調査の結果を踏まえ、ラックの更新及び照明設備のLED化等を行い、利便性の向上及び安全性の向上に努めた結果であると評価する。

また電動アシスト付自転車やチャイルドシート付き自転車等の多様化する特殊自転車駐車スペースの継続的な確保対応や、新型コロナウイルス感染症拡大により生活におけるデジタル活用が急速的に拡大したことを踏まえ、市営自転車駐車場専用HPを開設し満空表示を掲載するなど、社会情勢の変化に臨機応変に対応していた点についても評価できる。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、これまで縮小・制限されていた催事等の活性化が想定され利用者数の増加が期待できることから、新しい指定管理期間において更なる利用者サービスの向上に期待したい。

10 選考委員会意見

3年間の指定管理期間全体において、自転車駐車場の指定管理運営については良好に履行されていたといえる。成果指標の達成度については、目標値の達成には至らなかった要因として、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う行動制限などの外的要因が大きく影響したと考えられる。利用者数が少しずつではあるが復調傾向にあるため、新たな指定管理期間においても継続して利用しやすい施設運営に取り組んでいただきたい。

事業の実施状況については、自主事業として、自転車駐車場専用ホームページの開設やオープン型宅配ボックスの設置など、利便性向上に繋がる新規事業の開拓だけでなく、ラックの入替え等の設備の更新を行い、施設利用の安全性向上に繋がる事業の拡充についても継続して実施している点が評価できる。

利用者の満足度については、指定管理期間全体において、達成度は高い水準を維持していたことや、毎年実施している利用者満足度調査の結果を踏まえ、施設内の設備改修などを積極的に行っていたことが優れている。

施設の経営状況について、コロナ禍であったにも関わらず、全体事業収支を常に黒字とすることができた点について高く評価できる。次年度についても黒字運営が図られるよう、引き続き経営にあたってもらいたい。

管理業務の履行状況については、履行管理チェックシートを基に、市が施設の管理状況を確認した結果、いずれの検査項目についても適正に実施されていたことに加え、指定管理期間全体を通して、ルールブックの作成や配架、多言語翻訳機を導入するなど、より多くの利用者が安心して施設を利用できるよう思料している点が評価できる。新たな指定管理期間初年度となる令和5年度においても、この3年間の指定管理期間で築いたノウハウを生かし、施設を安心かつ安全にご利用いただくための取り組みや、近年利用率が拡大しているキャッシュレス決済の導入等、利用促進につながる取り組みを積極的に行っていただきたい。

総合評価（自動判定）

A

(70/100)

